

1971年6月17日第三種郵便物認可(毎月六回5の日・0の日発行)

SSK 無何有郷通信 2024年12月9日発行 SSK増刊通巻第6145号

LETTERS FROM NOWHERE

SSK

むかうのさとつうしん
社会福祉法人上州水土舎
LETTERS FROM NOWHERE
知的障害者B型&就労移行水土舎
2024年12月9日

無何有郷通信

増刊通巻37号

1泊2日東京湾フェリ
ー・鴨川泊・海ほたる
全旅費 4500 円の謎

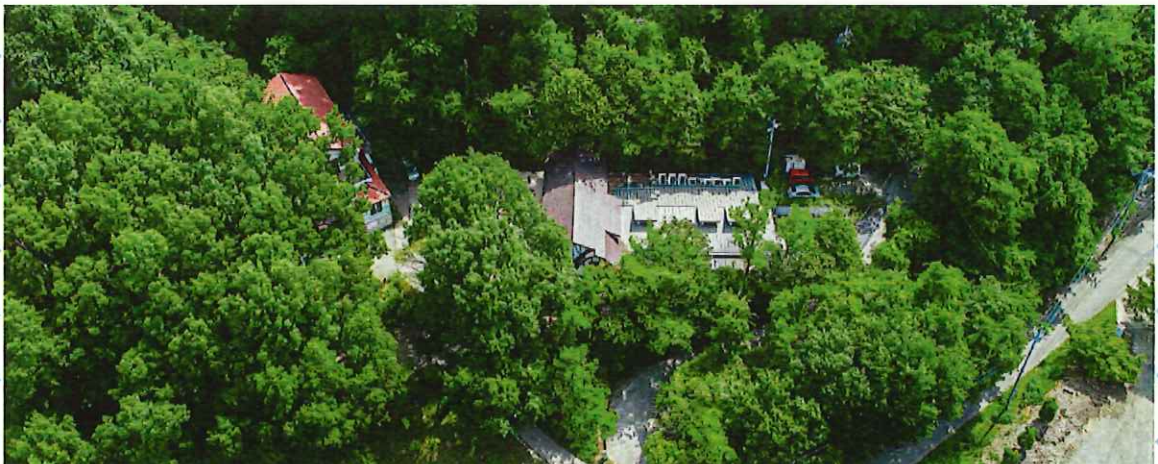


富岡一周駅伝大会
21チーム中 20位



お歳暮特集号

- ◇報告 共同通信の調査報道大賞優秀賞受賞と水土舎の子育て支援
- ◇自立支援協議会への質問 富岡甘楽福祉圏域の相談支援への提言
- ◇編集ボランティアさん募集、



赤城屋

AKAGIYA

あかぎや

群馬県産の豚肉を使用した ドイツ伝統のハム・ソーセージ

赤城屋の商品は食品添加物の亜硝酸塩(発色剤)を使用せず、ドイツ製の野菜エキスを発色させています(一部商品を除く)。また、保存料・着色料の添加物も使用していません。基本的に肉と香辛料のみの商品です。



A メルヘンセット ¥3,675
カレーヴルスト、シュワインツヴルスト、フランクフルター、
デブレツイーナ、ウンターシャーレ (ハム1種、ソーセージ4種)
フランス産種入マスタード90g (総重量:約1.0kg)



B リルケセット ¥3,990
シュワインツヴルスト、レーゲンス、アンスパッハ、コッホサラミ、
カスラスライス (ハム1種、ソーセージ4種)
フランス産種入マスタード90g (総重量:約1.2kg)



C パイエルンセット ¥4,200
ゲルブヴルスト、リオナー、デブレツイーナ、レーゲンス、
カスラスライス (ハム1種、ソーセージ4種)
フランス産種入マスタード90g (総重量:約1.3kg)



D ゲーテセット ¥4,200
ミュンヘナー、カレー、シュワインツヴルスト、フランクフルター、
デブレツイーナ、レーゲンス (ソーセージ6種)
フランス産種入マスタード90g (総重量:約1.4kg)



E シャートルージュ ¥5,250
カスラ、肩ロース、熟成ベーコン (ブロック3種)
フランス産種入マスタード90g (総重量:約1.2kg)



F カルトエッセン ¥5,250
スツツガーター・ケーゼ(ブロック)、ゲルブヴルスト、コッホサラミ、
ウンターシャーレスライス、カスラスライス、生ハム1種(シンケン
シュベック) (ハムスライス2種、生ハム1種、ケーゼブロック1種、
ソーセージ2種) フランス産種入マスタード90g (総重量:約1.5kg)



G ローレイセット ¥6,300
カスラ(ブロック)、肩ロース(ブロック)、ゲルブヴルスト、リオナー、
アンスパッハ、ツンゲンバステーテ、アウグスブルガーローデ、
生ハム(ラックスシンケン) (計7種)
フランス産種入マスタード90g (総重量:約1.8kg)



H ミュンヘンセット ¥7,350
カスラ(ブロック)、ニュールンベルガー、アルベンシュベック(ペー
コンブロック)、ポリニイッシュ、熟成カスラ、コッホサラミ、生ハム
1種(ラックスシンケン) (計7種)
フランス産種入マスタード90g (総重量:約1.8kg)



I ホームパーティーセット ¥10,500
カスラ(ブロック)、肩ロース(ブロック)、ゲルブヴルスト、リオナー、
アンスパッハ、スツツガーター・ケーゼ(スライス)、ツンゲンバ
ステーテ、ミュンヘナー、フランクフルター、デブレツイーナ、生ハム2種
(計12種) フランス産種入マスタード90g (総重量:約2.7kg)



J 期間限定 お徳用セット ¥3,150
シュワインツヴルスト、フランクフルター、デブレツイーナ、
スツツガーター・ケーゼ、ウンターシャーレ、
(ハム2種、ソーセージ3種) フランス産種入マスタード90g
(総重量:約770g)

単品

- カスラ(ロースハム)スライス
200g ¥1,260
- スツツガーター・ケーゼ(ミートローフ)
200g ¥1,008
- フランクフルター(ソーセージ)
150g ¥630
- シュワインツヴルスト(ソーセージ)
170g ¥802

上記価格に別途消費税がかかります

期間
限定

お届け期間
● 6月15日～8月15日
● 11月15日～1月15日

報告——水土舎も取材を受けた共同通信の障害者の結婚と育児に關する一連の記事に、調査報道大賞の優秀賞が授与されました。

柳澤 赴

まだ、あまり知られていませんが、すぐれた調査報道を顕彰し、その社会的意義を広めるとともに、現場で取り組む取材者を励ますために、調査報道大賞という賞が、2021年から報道実務家フォーラム(記者、編集者、ディレクターなど報道実務家が学び、話し合う団体で、世界調査報道ネットワークのメンバー)とスローニュース(株)によって設けられました。【スローニュースとは、

時間をかけてゆっくり取材し、記事をじっくり書き、読み手はゆっくり咀嚼(そしゃく)して読んで反応する、そんなスローな世界を目指した情報提供者の集団です。ネット時代

の玉石混交の情報の大量生産大量ポイ捨て時代のアンチテーゼという意味合いもあります。】

今年度の第4回「調査報道大賞」の大賞にはNHKスペシャル『冤(えん)罪』の深層／警視庁公安部(えん)罪』の深層／警視庁公安部で何が、大川原化工機(NHK)』が選ばれましたが、それに続く優秀賞に、共同通信の『社会福祉法人、結婚希望の知的障害者に不妊処置求める』が受賞しました。

大賞のNスベの冤罪事件の番組は社会的に大きな反響があり、注目を集めたニュースでしたが、共同通信の一連の記事は、どちらかと言えば関心領域の最大公約数がありあまり大きくなく、広く注目を集めるニュースとは言い難い地味な面があると思われるがちです。

しかし、記者さんはその問題意識

を障害者ばかりでなく我々一般人権問題にまで敷衍して捉え直しました。取材を受けた多くの人たちの末席を汚した我々も、この受賞の意義を改めて噛みしめ、その記者さんの力量と慧眼に満腔の賛辞を送りたいと思います。

折から旧優生保護法の違憲判断が最高裁で下されたタイミングでもありましたが、知的障がい者の人権に付いて様々な角度から侃々諤々の議論を惹起したきっかけの一つとなった重要な記事だと思います。

< 授賞理由 >

北海道の社会福祉法人が20年以上前から結婚希望の知的障害者に不妊処置を求めたことを明らかにした。それを許す社会や人々の偏見

と向き合う一方、障害のある実際の家族のありようを示して、希望も映し出した。

▽選考委員長・江川紹子氏談△

虚偽情報が飛び交い、様々な混乱や人権侵害がもたらされ、民主主義が危機に瀕している今、事実を掘り起こし、集め、吟味するという丁寧なプロセスを経た正確な情報が提供される意義と必要性は、切実なほどに高まっています。

手間と経費と時間をかけ、今もその仕事に取り組んでいるメディアやジャーナリストに、心からの応援と期待を表します。

関心領域の最大公約数があまり

大きくないと述べましたが、共同通信が『知的障害者施設職員ら調査』、という記事を配信した際、『自然な

願望欠いた視点、知的障害者の結

婚・育児』という記事が同時に配信

されています。前者では一般的な障

害者の結婚や育児の現場支援に付

いてアンケート結果や統計を踏ま

えて論じられており、後者では具体

例として各地の取り組みを伝えて

います。水土舎の例も写真入りで紹介

されました。この二つでワンセツ

トといった記事です。

各地の新聞がこの二つの記事を

一斉に報じましたが、各地の代表紙

の中で、群馬県の県紙である上毛新

聞は前者を掲載したものの、水土舎

の実践を記した後者を『紙面の都合

上』(編集局談)カットしています。

県紙は人々の関心を得られるほ

どのすそ野の広がりのあるニュー

スとは言い難いと判断したのか、障

害者の結婚子育てはそうそう重要

な問題ではないと判断したのかだ

と思います。単に編集局の人権感覚

のセンサーの鈍さを嘆くべきなの

かもしれません、、、

そもそも群馬県はGHにおける出

産・子育て支援に反対でした。あつ

てはならないことだったので。だ

からこのニュースを知った担当が

『バカヤロー。そんな話は聴いたこ

とがねえ!!』と怒鳴ったのです。

我々でさえ担当者の怒りは尤も

だと思えます。GHの育児子育ては

OKともダメとも明文化されていま

せん。慣例としてあり得ない事とい

う通念が常識としてまかり通って

いるだけなのです。

二年前の番組で、サッポロTVが

厚労省に問い合わせすと、個々の事例

に付いては県の担当部署に訊いて

くれ、という返事だったそうです。

そこで同TVが、群馬県にGHで出産子育てを支援している法人があるが、と問い合わせたところ、いつ、どのような理由で認めたのかは、担当が移動したから分からない、と応えたそうです。

調査報道はジャーナリズムの法のひとつというより、本来ジャーナリズムの王道なのだと思いますが、最近NHKも同様の名を冠した番組をスタートしました。

それより早く前出のフォーラムとスローニュース(株)は優れた調査報道に賞を授与して顕彰し始めたのですが、それによると『調査報道は機関やジャーナリストが独自の調査によって問題を発掘する報道です。かつてのウォーターゲート事件報道や田中角栄金脈研究、近年ではジャーニー喜多川氏の性加害、神戸

連続児童殺傷事件の全記録廃棄(いずれも昨年の第3回調査報道大賞)や、国土交通省による公的統計の不正書き換え(第2回同)、東京医大の女性差別入試(第1回同)など、大きな議論を起こし、社会の仕組み改善に繋がることもあります。一方で、時間や費用がかかることからその取り組みには困難が伴います。この賞によって、調査報道に地道に取り組むジャーナリストたちに光を当て、日本のジャーナリズムをさらに盛り上げていきたい所存です。』(HPより)と抱負を述べています。

また、NHKは調査報道という名を冠した新番組の開始に当たり、調査報道の意義を以下のように要約しています。

『調査報道は、一言で言えば、(官

庁や警察等の垂れ流し的)発表に頼らぬ自前の報道、つまり自社で調べて、自社の責任で報道する記事やニュースのことである。1960年代後半から70年代にかけて、アメリカではちょうど「ベトナム秘密報告」のすっぱ抜きや「ウォーターゲート事件」といった歴史に残る「調査報道」が紙面を埋めていた時期だった。しかし80年代以降、一気に下降線をたどり始め、21世紀に入ってから新聞社の買収が相次ぎ、利益優先、コスト削減のため経費のかかる「調査報道」は経営者にとって“金食い虫”としか映らない。

日本でも、活字離れ、テレビ離れがメディアを直撃している。インターネット時代を迎え、情報が氾濫する中、新聞読まない、放送見ない、雑誌買わない世代が急速に増え、大学生たちのほとんどが、インターネ

ット配信のニュースで事足りるとしている。だがインターネット時代になればなるほど、新聞、テレビ各社の存在価値を際立たせるものとして「調査報道」があるのではないだろうか。いまこそ、「調査報道」とは何かを考える時期に来ている。」

このような時期に、共同通信の記事が受賞した意義は極めて大きく、我々と障害者のリプルダクト権は同等に論じられるべきであり、障害者のその権利の主張を嚆矢として、障害者の人権尊重の運動のベクトルが、一点突破全面展開の推力に転嫁すればいいと思っています。何故かこのうねりの中で否応なくバンガードの末席に連なることになったはるかちゃんはや小五年生。未だに脳波の検査を拒否して周囲を困らせていますが、元気で毎

日通学しています。その共同通信社の記者さんから教えられたのですが、国はとうとうGHの子育てを認めたのかな？という思わせぶりな通達が今年の六月各地に向けて発出されました。以下は共同通信からの剽窃です。

障害者ホームでの子育て容認
新居確保まで、厚労省通知

2024年6月7日（共同）

厚生労働省が、グループホーム（GH）での障害者の子育てを「想定していない」としていた従来の方針に加え、新たな住居が見つかるまで子どもとの同居は「差し支えない」と容認する見解を示したことが分かった。

北海道のGHで障害者が不妊処置を受けていた問題に関連し、全国の自治体に通知した。関係者が7

日、明らかにした。障害者の子育て環境を向上させる狙いだが、GHが子育てを援助しても公費による手当てはなく、支援拡充が求められそうだ。障害者総合支援法はGHに入居できる障害者を原則18歳以上と規定。通知は5日付で、子どもと同

厚生労働省の通知のポイント

- 出産した子どもとグループホームで同居して支援を受けることは基本的には想定していない
- 支援態勢が整った住まいが見つかるまでの間は子どもとの同居を認めても差し支えない
- 養育環境の確保に向け、新たな住まい探しを支援し関係機関と連携。他の入居者の支援に支障が出ないようにする

居して支援を受けるとは「基本的には想定していない」としつつ、支援態勢が整った住まいが見つかるまでの間は「子

どもとの同居を認めても差し支えない」とした。ただ実際には、運営状況によって対応が分か



赤城屋

Akagi-ya Wurst Ham

Der Metzgerei aus München nach Akagiya
Weiße Rose/Rote Burg

富岡市後賀723-7

Phone 0274-64-1254 / E-mail akagi-ya@xp.wind.jp



黒毛和牛本来のやわらかさと芳醇な風味を
塩釜に閉じ込めた逸品です

塩釜焼き
ローストビーフ



赤城屋 黒毛和牛 塩釜焼モモ肉ローストビーフ 210g、450g
赤城屋 上州牛 塩釜焼モモ肉ローストビーフ 200g、300g、400g

群馬県産

上州黒毛和牛サーロイン・ローストビーフ

口の中でとろける旨味と芳醇な味わいをご堪能下さい。



赤城屋 黒毛和牛 サーロインローストビーフ 200g、300g、400g



群馬県産

黒毛和牛モモ肉ローストビーフ

やわらかな肉質と肉に閉じ
込められた旨味をご堪能下さい。



赤城屋 黒毛和牛 モモ肉 200g、300g、400g

群馬県産 上州牛モモ肉の大きなハンバーグ

上州牛のジューシーな旨味と濃厚な味わい深さが凝縮されています



赤城屋上州牛モモ肉100%とまねきだけで作りました。160g・6個、160g・4個

群馬県産

上州牛モモ肉ローストビーフ

人気のローストビーフです。
ジューシーな旨味をご賞味下さい。



赤城屋 上州牛 モモ肉 200g、300g、400g

れるとみられる。通知は「障害者の希望を踏まえた生活の実現に向けた支援が必要」と明記。養育環境の確保に向け（１）新たな住まい探しを支援する（２）子育て支援の関係機関と連携する―を求めた。

その通知（障障発0605第2号2024年6月5日）の中で水士舎が注目した箇所。

《特に、自立生活援助については、単身の障害者に限らず障害者同士が結婚する場合や子育てを行っている場合等も支援の対象であり、積極的な活用について検討すること。なお、標準利用期間は1年間であるが障害者の子育て中の世帯等であつて、市町村審査会の個別審査を経て、必要性が認められた場合は回数制限なく更新が可能である。また、相談支援事業者が計

画相談支援を実施する際、上記に掲げる関係機関等と連携してサーブス等利用計画を作成した場合に、医療・保育・教育機関等連携加算を算定することが可能である。

なお、就労している障害者世帯については、障害者就業・生活支援センター等、就労関係機関等との連携を図ることも重要である。》

これは詰まり、我々がこれまで行政に頼らず行ってきたGHを利用した子育て支援を、必要性が認められれば期間に限定なく延長でき、しかも場合によっては加算（連携加算とは何なのか？予算処置？）が支給される可能性があるということを示唆しているのだろうか。

まさかそこまで踏み込んだ通知ではないだろうと思うし、行政の前例踏襲主義や事なかれ三猿主義の

石頭が早々寛解にいたるとはとも思えないのだが、、、この稿終わり。

公開質問状・相談支援に付いて
木暮 英俊

市町村福祉課、自立支援協議会相談支援部会、基幹相談支援事業所各位

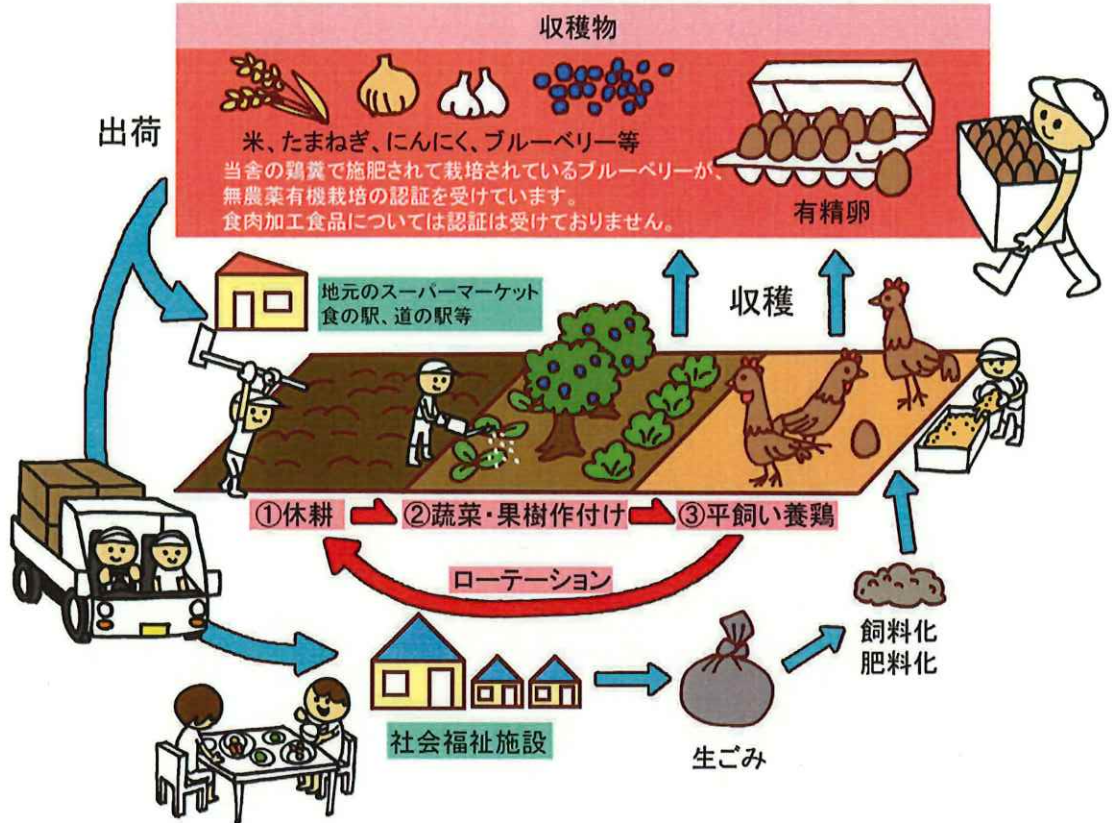
2024年3月6日、記す

以下は、23年9月に自立支援協議会相談支援部会が、各市町村の課長、係長、担当者を交えて開催された例会に提出した質問です。

我々の極めて少ない経験からの推測ですが、富岡圏域の相談事業が停滞しているのではないか、相談事業を基幹相談事業所（以下基幹と表記）に一極集中するのではなく、各相談事業所間でより緊密な連絡協

水土舎は障害者施設です。水土舎は三圃式農法(休耕、野菜作り、放牧の輪作)を有畜複合農業と組み合わせ、油と電気の消費を極力抑えた循環式自然農法に依拠して有機農業、自然養鶏、食肉加工を行っており、食物残渣は3R(reduce,reuse,recycle)のサイクルを通して飼料や肥料として再活用しています。地球環境にやさしく、脱炭素化や地球温暖化阻止にささやかに貢献しています。

上州水土舎



水土舎での日々の活動の中核は障害者が担っています。それぞれに食品加工、園芸、農業及び養鶏を専門とする職員は、同時に福祉施設の支援員でもあります。この自主事業に皆が一丸となって取り組み、福祉や健康の増進、働きがい、生きがい、心地よい暮らし、社会的公正等の実現、そして一人一人が安心立命の図れる居場所作りに励んでいます。SDG'sの理念にも通底する賢治の『雨にも負けず』の精神で、平和で安全で諍いのない地域社会の実現に参画したいと考えています。



水土舎のいい・ローストビーフ 赤城屋のりーせーじ

販売は当舎でも行っています。下記まで電話連絡の上、お越しください。【受付 8:30~17:30】

☎0274-64-1254(富岡)

社会福祉法人

上州水土舎

FAX 0274-89-1055/E-mail akagi-ya@xp.wind.jp
URL <https://suidosha.jp>

〒370-2304 群馬県富岡市後賀723-7

力体制を構築し、より効率的、効果的、即応的な方法で、24時間365日体制を下敷きにした支援体制を組めないか、大きな予算を一極に

集中するよりも各相談支援事業所間で応分に振り分ける方法が確立できないか(例、高崎市のよう)、相談支援事業をより有効たらしめたい、そのために忌憚のない議論ができればいいというのが我々の願いです。以下の質問は未だどこからも回答を得ておりませんが、再度各関係者で取り上げ、議論を深めて頂ければ幸いです。

2023年9月12日、記す。
1 地域生活支援拠点事業所、2、地域生活支援協力事業所、3、基幹相談支援センターにお尋ねします。

① 1、これら三者の明確な役割分

担。過去の実際のケースに即して、相談支援の分業や協力の内容を明文化して下さい。

② 令和4年度に各市町村で地域生活支援拠点事業実施要綱が定められました。この要綱の中で定められている拠点事業所や協力事業所と、基幹との性格や役割の異同につき明確にお答えください。

③ 現在の事業所が基幹として認定された経緯を知りたいと思います。民主的な方法で決定されたのか、それとも何れの機関にも諮らず、市町村の独断で基幹を決定したのか、その決定までのプロセスを明確に説明して下さい。

④ 基幹が委託事業者として、令和4年度に受け取った金額。

富岡市20、626、032円、
甘楽町5、338、749円、
下仁田3、630、075円、
南牧村1、405、144円、
合計三千百万円。

水土舎では、こんなデカイお金が相談支援事業の業務委託費として市町村から基幹に支払われていたことを、寡聞にして知りませんでした。因みに全国1741市町村のうち相談支援を指定相談支援事業者へ委託している市町村数は1575、1市町村当たりの平均委託料は1831万円(厚労省、R5年3月の障害者相談支援事業の実施状況等について、から引用)。基幹はこの金額に見合った活動を行ってきたのでしょうか、記録がないので検証不可です。而して、続きの質問です。

⑤ このお金は基幹の活動の何に支払われているのですか。具体的な業務委託契約の内容について、その規定と毎年度の決算書をご提示下さい。また、契約書の公開を願いたいします。

⑥ 活動の記録はもちろん綴られているのですが、我々基幹でない相談事業所はアクセスできません。何しろ3100万円です。立派な活動記録が残されていると思います。それを関係者には常に閲覧可能な状態にしておいて下さい。この記録は今後のより良き地域福祉活動を推進していく上で、大変に重要かつ貴重で有益なデータベースであるはずですから。プライバシー権の侵犯には当たらないはずで。

⑦ 活動記録の中で、各市町村から持ち込まれた相談件数、相談内容の分類、相談の振分けや協力を頼んだ組織とその内容と件数。資源間協力体制に関心があります。統計は非常に大切だと思います。一度その簡単な統計が自立支援会議で開示されました。再度、お願いいたします。

ある事例。

下図は北信越圏域の相談の事例の統計です。基幹はこれと同じような統計を提出して下さい。

北信越圏域の人口は8万6千余、委託費は千六百万円だそうです。因みに富岡市と甘楽郡の委託費は三千百万円、対して総人口は北信越圏域の77%の6万7千余です。

⑧ この三千百万円は、地域生活支援拠点事業実施要綱が定められ

た以上、基幹だけでなく、拠点事業所や協力事業所もその活動に見合った配分の方法が考案され

北信圏域の計画相談の作成状況

	障害者総合支援法分(特定)			児童福祉法分(障がい児)			合計 達成率
	対象者数	作成済	達成率	対象者数	作成済	達成率	
中野市	328	328	100.0%	12	12	100.0%	100.0%
飯山市	191	191	100.0%	5	5	100.0%	100.0%
山ノ内町	104	104	100.0%	0	0	0.0%	100.0%
木島平村	44	44	100.0%	0	0	0.0%	100.0%
野沢温泉村	34	34	100.0%	0	0	0.0%	100.0%
栄村	19	19	100.0%	0	0	0.0%	100.0%
北信圏域	720	720	100.0%	17	17	100.0%	100.0%
長野県	13,958	13,015	93.2%	2,519	2,229	88.5%	92.5%

て然るべきだと思えますが、如何。エグイ話をさせてもらえば、基幹が対応できず別の事業所が行った例に付いても、現状では、別の事業所にはその支援活動の対価は支払われない仕組みになっています（要綱の中の緊急時初動支援時給千円など笑止です）。これはおかしいと思えます。基幹で解決できなかった相談支援を他の事業所が継続して行い、結果的に基幹より多少なりともより良く支援を継続し、状況を改善することに資したのに、パイは基幹だけが独占する現行の構造は不平等の誇りを免れません。

⑨ 今後は益々各資源や関係者個々人を有機的に結び付ける緊密な支援協力体制を組むことが

必要になってくる事案は益々増えると思えます。また、地域の支援は本来そうあるべきだと思えます。ひとり基幹だけが業務委託費を支払われ、その他の相談支援事業所には活動を支える資金が振り分けられないなら、相談支援と地域支援拠点事業とその理念は死滅します。この種の構造を温存してきた市町村は猛省し、速やかに三千万円のより良き活用方法を関係者と協議すべきです。

蛇足ですが、水土舎が担当してきた事例では、曲がりなりにもゼニカネよりも実質的な相談や支援を優先してきました。考えてみれば当たり前です。基幹が放棄したDV被害者の事例では、警察から『金も、布団も、何も無い』だが受け入れても

らえるのか、と質されました。我々の答えはもちろん即断でYESでした。基幹は不作為の誇りは市町村も同様だ、と言っているようですが、或る担当者は市町村の窓口を持ち込まれた問題は基幹に丸投げするのが通例だと語っています。(了)

◎編集ボランティア募集

年数回の機関誌の編集発行のお手伝いをお願いします。



編集 集…知的障害者授産施設水土舎
編集人…代表 金谷透

印刷…水土舎印刷室(無断転載禁止)
発行…特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷三の一の十七の一〇二
一部百円、年間購読料四百円。(込)

1971年6月17日第三種郵便物認可 (毎月1回15の日発行) SSK無何有郷通信 2024年12月9日発行 SSK増刊通巻 第6145号